

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年2月22日（木）
- 2 確認箇所
F1タンクエリア、F2タンクエリア
- 3 確認項目
5・6号機建屋滞留水移送経路の状況

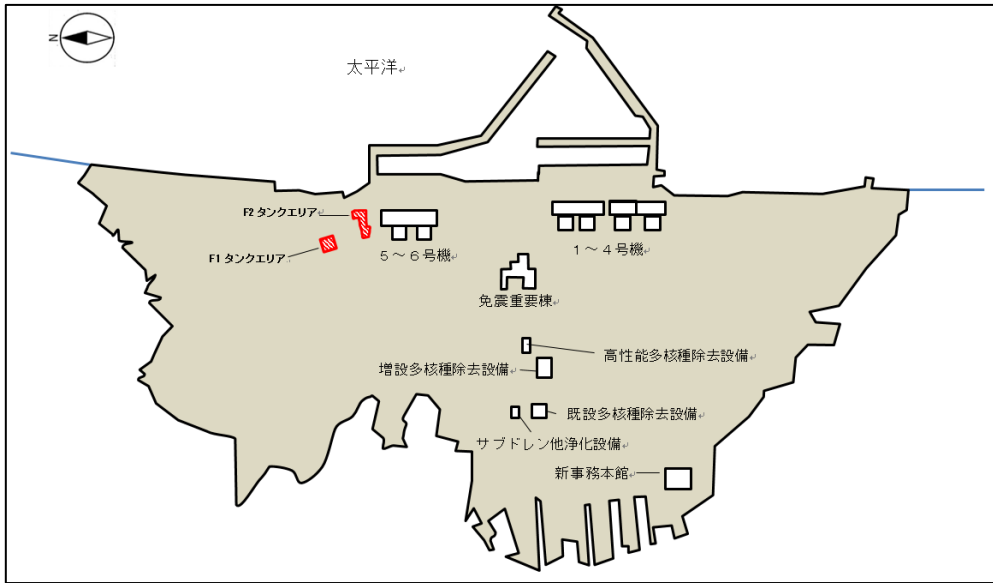
4 確認結果の概要

従来、5・6号機滞留水（以下「滞留水」という。）は6号機タービン建屋に集水され、F2タンクエリアのタンク（フランジ型タンクを含む）を経由してF1タンクエリアに移送され、浄化処理された後、構内に散水されていた。

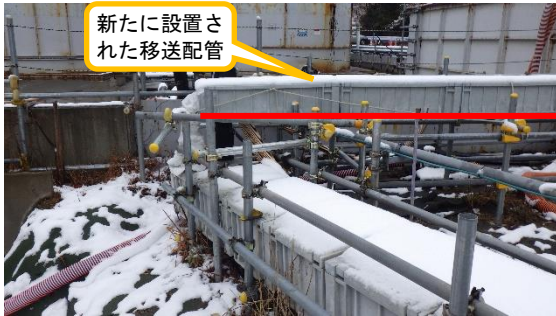
フランジタンクは溶接型タンクに比べて漏えいのリスクが大きいため、東京電力は順次置き換えを進めており、F2タンクエリアにおけるC群タンク（フランジ型）も今年度運用を停止する計画である。

滞留水を、F2タンクエリアC群タンクを経由せずF1タンクエリアに移送できるように、移送ポンプ及び移送配管を改良する計画があることから、F2タンクエリアの現況について確認した。（図1）（前回確認：[令和5年7月20日](#)）

- ・滞留水移送に際して、F2タンクエリアC群タンクを経由せずにF1タンクエリア（N1タンク）に移送するための新たな移送配管が、プラスチック製のボックス内に設置されていた（写真1）
- ・従来の移送配管の一部は取り外され、使用不可となっていた。（写真2）
- ・滞留水はF1タンクエリア内のN1タンクに移送される計画であるが、当該N1タンクの入口弁が「閉」となっていた。（写真3）
- ・N1タンクに仮設配管が設置されていた。（写真4）
- ・同仮設配管の末端は、F1タンクエリア堰内で、接続されていない状態であった。（写真5）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)

新たに設置された移送配管（赤線の部分、F2タンクエリア南側の位置から西側に向かって撮影）



(写真1-2)

新たに設置された移送配管（赤線の部分、F2タンクエリア北側の位置から東側に向かって撮影）



(写真2)
移送ポンプ出口配管



(写真3)
N1タンクの入口弁



(写真4)
N1タンクに設置されていた仮設配管



(写真5)
N1タンクに設置されていた仮設配管末端の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。